

# 大規模火災 消火・避難



防災訓練に  
1,200人が参加

# 人ごとではありませんよ!

— 自主防災との連携強化をめざして —

10回目を迎えた町総合防災訓練は、横芝地区（栗山を除く）を対象に 1,200人が参加して行われました。

今回の訓練は、地震発生のおと、大規模な火災が発生した……という想定。

午前4時過ぎ、役場職員・消防団員の非常招集をはじめに、情報の収集や災害現場での救助

活動を行いました。その後、あいつぐ火災発生のため避難勧告が出されると、各地区の防災会による避難誘導が、実践ながら行われました。

“防災。という2文字、とかく、人ごとのように思われがちですが、参加したみなさんは熱心に取り組んでいました。



避難するときの注意事項を聞く参加者



避難する人の誘導を行う地区防災会の役員さん

「台風が千葉県に上陸する見込み」 こんな天気予報を見れば、雨戸を閉めたり、家のまわりに危険なものがないかなど、雨や風に対する備えをまもって行うことができず。これは、テレビやラジオによって、正確な情報が入ることによるものです。

しかし、地震の場合はどうでしょう。いつ起こるかかわからないというだけで、地震に対する「備え」はおろそかになりがちです。知識はあっても、いざというときに適切な行動をとれるというわけではありませんし、電話が使え

## なぜ、自主防災…

なかつたり、消防車が通行できない場合も考えなければなりません。

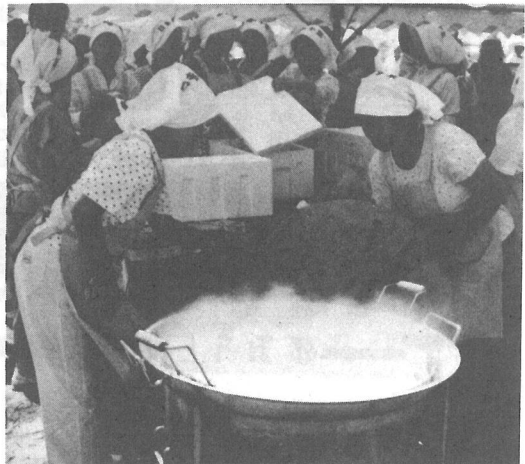
そこで町では、各町内会ごとに、災害が発生したとき、情報を集めて連絡をとったり避難誘導やケガ人の応急手当をする係などをまもって決めておいていただき、被害を少なくするための「自主防災組織」づくりをすすめているのです。

今年、上町・本町・古川・両国新田・鳥喰地区への組織づくりを済ませました。来年は、栗山地区へ設置する計画です。

消防署の指導で  
消火訓練(右)



県の防災訓練には  
婦人会も参加(下)



地区防災会への資機材は「宝くじ助成事業」によるものです。